

国際交流委員会 事業計画

委員長 根本 亜矢子

私たちが住み暮らすつくば市は、言わずと知れた国際都市です。近年インターネットの普及や交通手段の発達、さらには日本を代表する研究学園都市としての発展も手伝い、グローバル化が急速に進んでいる中で、市民の皆様にも異文化交流を通じて様々な事を分かち合い、相互理解を深めて頂く必要性を感じます。また、メンバーがグローバルな視点で物事を捉え、時代に見合った活動を展開していくために、国際性を育む必要があります。

国際交流を図っていく上で、お互いの言葉が通じないことは大きな問題ではありません。お互いの心が繋がることにより伝えたいと強く思うことで、互いに通じ合い交流を育むことが出来ます。まずは、凝り固まった「当たり前」な事から視野を広げるために異なる文化を知る事が重要と考え、市民の皆様やメンバーに、同じ地域で住み暮らす外国の方々の文化を知る機会と日本の文化を伝える場を提供し、相互理解を深めて頂く事業を開催します。そして、未来を見据えて活動をしていくにあたり、国際交流を通じて他国の文化を見聞きし受け入れることにより、今以上に日本を知る絶好の機会にします。また、青少年教育委員会と共に、未来を担う外国と日本の子供たちにとって相互の文化を理解し交流が出来る事業を開催します。さらに、ASPAC誘致を総会決議しているLOMとして第68回 JCI ASPAC 鹿児島大会にブースを出展することに際し、委員会として最大限の協力を以って国際都市つくばの団結を発信していきます。メンバーの皆様には、国際会議に参加することで得ることが出来る、国際的な感覚を身に付けるきっかけとして頂きます。

多方面への広い視野を持ち行動が出来る、国際力に富んだ人々が、世界中の方々と互いの未来について考え、文化を超えて交流する事で地域の存在価値が高まります。そんな国際的視野を持った青年経済人の団結こそが、先進都市つくばへと繋がる事を確信します。

〔事業計画〕

1. 国際都市つくばとして街に住み暮らす、外国人との交流を目的とした事業の開催
2. 青少年教育委員会と共に繋げる国際交流と青少年の教育を目的とした事業の開催
3. 第68回 JCI ASPAC 鹿児島大会ジャパンナイトのブース出展協力
4. 会員育成、拡大

予 算

〇〇〇〇〇〇円

〇〇〇〇〇〇円

合 計

〇〇〇〇〇〇円